

公益財団法人

宮城県国際化協会

MIYAGI INTERNATIONAL ASSOCIATION

倶楽部

MIA

みやぎの多文化な人 宮城県内で活躍している海外出身者をご紹介します。

## 大崎市鹿島台で母国の味と 憩いの場を提供するインドネシア料理店



渡邊輝 さん

仙台市出身

大崎市鹿島台在住 Warung Berkah Jaya(ワルンブルカジャヤ)経営



シティ・コリマ さん

インドネシア共和国東ジャワ州トゥルンアグン出身

大崎市鹿島台在住 Warung Berkah Jaya(ワルンブルカジャヤ)経営



店舗入口に立つ渡邊さんと夫妻

—鹿島台を選んだことや開店までのことなど教えてください。

渡邊輝さん(以下、渡邊):

JR東北本線の沿線で、技能実習生たちが来やすいことがひとつのポイントです。それに鳥のさえずりや満天の星空など自然豊かな環境で気持ち良く過ごせますし、航空基地のある東松島が近いのでブルーインパルスの飛行訓練も見られて、とても気に入っています。

シティ・コリマさん(以下、シティ):

ここに自分たちの城ともいえる店舗兼住宅を持てることになって嬉しかったです。店名は「幸運の店」という意味で、「皆が幸運に恵まれますように」と願いを込めて名付けました。

渡邊:開店にあたって、大崎市の「おおさきチャレンジ創業応援事業補助金」を活用して厨房を改装しました。店の入口のウッドデッキや屋根付き客席(ガゼボ)はインドネシア人の親睦団体「東北家族」のメンバーや技能実習生の手を借りて作りました。

—シティさんは元々お料理が得意だったのですか。

シティ:料理は元々好きで、来日してから母国にいる母に時々コツを聞きながらレパートリーを増やしてきました。インドネシア人の友人やその家族たちに振る舞うたびに「この腕前なら、お店を出せるよ」といつもほめてもらい、お店を持つことを考えるようになりました。今年のラマダン明けのときは、友人たちがたくさんお店に集まりお祝いをすることができて、長年思い続けていたことが実現できました。

—土日だけの営業だそうですね。どのようなお客さんが来ていますか。

シティ:土日だけの営業なのは、インドネシア人の休日に合わせたからです。それに仕込みや調理をするのは私ひとりなので平日も営業するのは難しいですね。夫婦二人で店を続けるには、このペースが最適です。

渡邊:2021年8月の開店後、最初の3か月はインドネシア人の友人や知り合いが来店し、その後はインドネシア人のネットワークや口コミで大崎市内や石巻、登米などから来る技能実習生が徐々に増えていきました。日本では世界の料理が身近にあり、外国の食べ物に対して抵抗感が少ないですが、インドネシアではインドネシア料理だけで育つ人が多いため、来日後、日本の

食事に慣れるまで時間がかかるようです。メニューは現在40種類ほどで、中には私の口には合わないものもあります。つまり、妻の作る料理は日本人向けにアレンジしておらず、インドネシア人にとってはそれが故郷の味そのものということです。技能実習生がこの店に来るのは、大体3か月おきくらいです。母国の家族に仕送りをするため節約している彼らにとって、外食は自分へのご褒美なのです。イスラム教徒の彼らにはお祈りのスペースが必要だと気づいて、店の一角に設けたこともあり、いつも3、4時間ほど滞在して寛いでいます。

シティ:彼らは職場の仲間と一緒に来ることが多く、何人分もの食事を同時に用意するので厨房にこもりっきりです。夕方頃にやっと手が空き、お客さんと話をするができます。男性客が圧倒的多数で、女性は自炊が当たり前なのか、お給料をもらった後に来店して2ヶ月分の食材や調味料を買っていく人が多いですね。

渡邊:日本人の上司が会社で雇用しているインドネシア人を連れて来店することも時々あります。日本で働く彼らに故郷の食事を振る舞う心遣いを見るたびに心が温かくなりますし、安心します。最近は留学生やインドネシアに滞在経験のある日本人も増え、インドネシア人と日本人がテーブル越しに交流することも多々あり楽しそうです。みなさんが帰り際に「また来るね」と声をかけてくださり、感謝の気持ちでいっぱいになります。

—今後の計画などをお聞かせください。

シティ:販売している食品の種類を増やしていきたいです。それと、年に1、2度、食べ放題の日を開催しています。ひとりで200食くらい用意するので大変ですが、この鹿島台でお腹と心を満たして、日本での良い思い出を作ってもらえれば嬉しいです。

渡邊:県内在住のインドネシア人から食材のまとめ発注を受け、発送や配送をしています。蔵王町まで届けたこともあります。またインドネシア人を雇用している企業やインドネシア人交流団体からお弁当の依頼があり、つい最近も100人分を作って届けました。他にもアジアフェスなどのイベントでブースを出しました。今後もこれらの依頼があればできる限り対応する予定です。

当協会の図書資料室には、日本語を学習する外国人向けの教材や日本語を教えるための教科書、問題集、児童生徒向け教材や指導者用参考書など1000点を超える蔵書があります。ボランティアで日本語を教えているけど、どんな教材を使ったら良いかわからない、教えるときに使えるテクニックを知りたいという方がいらっしゃいましたら閲覧、貸出しもできますので、ご活用ください。詳細についてはMIAのホームページでお知らせしています。

<https://mia-miyagi.jp/library.html>



## 未来の東北博覧会記念国際交流基金助成金-募集中!

1987年に開催された「未来の東北博覧会」を記念して創設された未来の東北博覧会記念国際交流基金は、国際交流・協力事業や多文化共生推進事業を行う民間の国際交流団体等へ助成する事業を募集しています。

助成対象事業の実施時期	受付期間
4月1日から6月30日までの間に開始する事業	1月1日から2月10日まで
7月1日から9月30日までの間に開始する事業	4月1日から5月10日まで
10月1日から12月31日までの間に開始する事業	7月1日から8月10日まで
1月1日から3月31日までの間に開始する事業	10月1日から11月10日まで

助成金の対象となる事業、条件および手続きの流れについては、ホームページをご確認ください。  
申請に関するご相談は、申請受付期間に限らずいつでも受け付けておりますので、まずはお電話ください。

未来の東北博覧会記念国際交流基金      問合せ先TEL:022-275-3796    ((公財)宮城県国際化協会内)

## MIA日本語サポータービギナー研修会

日本語を学習したい外国人にマンツーマンで日本語を教えるボランティア活動について基礎から学ぶ研修会です。日本語サポート活動を始めてみたい方、登録はしてみたけれど実際どうしていいかわからないというビギナーの方々におすすめです。

- 日時 2024年8月1日(木) 13:00~16:00
- 場所 宮城県国際化協会 交流ラウンジ
- 内容 地域の国際化と日本語ボランティア活動について、外国語としての日本語、日本語学習教材の紹介、やさしい日本語についてなど
- 講師 MIA日本語講座スーパーバイザー
- 定員 20名(先着順)
- 申込 googleフォーム <https://mia-miyagi.jp/240801beginner>
- 参加はMIA日本語サポーター登録者に限ります。  
未登録の方は事前にMIA日本語サポーターへの登録をお願いします。





## MIA日本語講座だより MIAのFacebookで日本語講座の様子を紹介しています



【日本語講座から】というテーマで投稿をしています。日本語講座でどんな学習をしているのか、教室で行われるアクティビティ、多様な受講生の声などを紹介しています。不定期ではありますが、ちょこちょこ更新していますのでご覧ください。

<https://www.facebook.com/miyagi.mia>



シリーズ

## 外国人とともに働く

県内には1万6千人以上の外国人労働者がおり、私たちの暮らしを支える貴重な存在となっています。このシリーズでは、外国人を積極的に雇用している企業のさまざまな取り組みをご紹介します。

### 第1回 株式会社木村工業(石巻市)

線路の新設工事や保守、土木工事などを行っている会社で、技能実習生と特定技能の8名のベトナム人を雇用しています。実習生たちは、仙台市営地下鉄やJRの線路の保守や点検などを主に夜間に行っています。受け入れ当初は日本語能力が不十分だったこともあり、日本人社員から「指示に時間がかかって面倒だ」という不満の声が上がったのですが、仕事に慣れ、日本語が上達するにつれてそうした声も聞こえなくなりました。やる気があって効率よく作業をこなしてくれるので、今では「次もベトナム人を採用してほしい」という要望が出されるほどです。



夜間に線路の保守作業をしている様子

日本語教育に力を入れていて、来日してから3年間は社内で週に1回日本語を教えています。そのほかに「国際サークル友好 21」の日本語教室にも月に2回、車で送迎して参加させてもらっています。同会では交流会も開催していますが、そうした場にも積極的に参加して、地域の人たちとの相互理解に努めています。市役所からのお誘いで、石巻専修大学の授業にお邪魔して大学生と懇談したこともあります。

なるべく長く日本で働いてもらいたいと考えていますが、日本で身につけた技術を母国で生かしてもらうことも大切です。ホーチミン市地下鉄の保守点検作業に従事することとなっている大手企業から、「ぜひうちに来てほしい」と2名ほど言われていて、本人ともども嬉しく思っているところです。

## 多文化 なトピック

### 国民生活センターの多言語リーフレット

国民生活センターでは、よくある消費生活トラブルについて、多言語で注意点を紹介しています。例えば「スマホのセット契約の勧誘に注意!」というリーフレットでは、契約するとき勧められることがあるセット契約(光回線、電気、ガス等)のことなど、確認しておきたいポイントを英語・中国語(繁体字、簡体字)・韓国語・タイ語・ベトナム語・ポルトガル語・タガログ語・スペイン語で紹介しています。

Webサイトでは他のトラブルについても紹介していますので、ぜひご覧ください。

Webサイト [https://www.kokusen.go.jp/c-edu/data/c-edu\\_foreign\\_lf.html](https://www.kokusen.go.jp/c-edu/data/c-edu_foreign_lf.html)



MIAの国際理解教育支援事業では市内の小中学校等に外国人講師を紹介しています。このコーナーでは講師が自分の国を紹介する「とっておき」の方法をお伝えします。

## 第1回 羊の骨 Asyk

ザンペインフ バキトさん カザフスタン共和国出身

みなさんは動物の骨で遊んだことがありますか。私の母国カザフスタンでは、羊の肉を食べた後、残った骨を綺麗に洗いおもちゃにしています。それがAsyk(アスイク)という遊びです。Asykは羊の膝の骨を使う、主に男の子の遊びなんです。順番を決める時に落とした骨に向かって、離れたところからそれぞれ骨を投げて多く当てた人が勝ちです。前に小学校に行ったときにAsykを紹介したら、骨=幽霊と思ったみたいで「骨で遊ぶのは怖い。」と言われて驚きました。その時に子どもたちにフライドチキンを食べるか聞いたんです。するとみんなは「食べる!」と答えたので、Asykもそれと同じ。食べ物で出た骨をおもちゃにすだけと説明しました。そんなことがあったので少しでも可愛く見えるようにとマニキュアで色を塗ってみたら今度は別の学校で「血がついているの!?!」と言われてしまいました。

私は多くの学校訪問に参加していますが、ある子どものお父さんからカザフ語でメッセージをもらったことがあり、とても嬉しかったです。日本ではまだまだカザフスタンのことは知られていませんが、学校訪問を通して少しでも多くの子どもに母国のことを知ってほしいです。そして子どもが家庭でカザフスタンのことを話せば、大人もカザフスタンという国について知るきっかけになるかもしれません。もし学校訪問で会ったときは一緒にAsykで遊びましょう!



Asykを使って遊ぶ様子



Asyk

## みやぎの国際活動団体

### 白石市国際交流協会

当協会は、幅広い方々に国際理解の場を設けるとともに、多方面での外国人支援、多文化共生社会の推進にも力を入れており、今年、創立20周年を迎えました。

気軽に国際交流できる場として、海外在住経験者に在住体験談や文化紹介について講話をいただく「国際理解を深める講演会」や、その国の庶民的料理の紹介、実演、試食を通して、異文化への興味、関心を深める「料理を通して世界を知る会」などを開催しています。

また、外国人向け救急救命講習会のサポートや、外国人が理解しやすい日本語を学ぶ「やさしい日本語研修会」など、より円滑な情報伝達を身に付ける機会も提供しています。

今年度、白石市は市制施行70周年を迎え、インバウンドの増加も期待されます。当協会でも、講演会(8月)や料理の会(2月)、本市を代表する催事「鬼小十郎まつり」(10月)での外国人向け案内デスクの設置のほか、市記念事業を支援しながら国際交流活動を意欲的に行い、本市のPRに貢献したいと考えております。

昨年度から、当協会の公式LINEも開設しました。より積極的に活動内容を発信していきますので、ぜひ友だち登録をお願いいたします。



外国人救急救命講習会にて



70th ANNIVERSARY



### 賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格  
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費  
個人会員/1口 3,000円  
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典  
◎協会機関紙 宮城県国際化協会機関紙 倶楽部MIAの定期送付(年6回)
- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引 宮交観光サービス(株)
- ◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法  
◎本協会あて御連絡ください。  
所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



## 倶楽部 MIA vol.133

編集・発行  
公益財団法人 宮城県国際化協会  
〒981-0914  
仙台市青葉区堤通南宮町4番17号  
宮城県仙台合同庁舎7階  
TEL 022(275)3796  
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL https://mia-miyagi.jp

